

国立特殊教育総合研究所
教育相談年報

第 26 号



平成17年5月

独立行政法人
国立特殊教育総合研究所

国立特殊教育総合研究所教育相談年報刊行について（抜 粋）

1. 教育相談年報刊行の目的

本研究所における教育相談事例をはじめ、障害のある子どもに係る教育相談について実際的な情報を提供し、本研究所はもとより関係各機関における教育相談の一層の充実発展に資するため、教育相談年報（以下、年報という）を刊行する。

2. 教育相談年報編集ワーキンググループ委員

- (1) 年報を編集するため、教育相談連絡会議に年報編集ワーキンググループをおき、そのチーフは理事長が指名し、他の委員は教育相談連絡会議の委員より教育相談センター長が指名する。
- (2) 年報編集ワーキンググループにおいては年報の内容を企画・整理し、原稿の依頼及び論文の掲載順や体裁等を整える。

3. 教育相談年報編集方針

年報は次による編集方針に基づいて毎年1回刊行する。

(1) 掲載論文等の内容

以下のような内容について掲載する。

- ①本研究所及び筑波大学附属久里浜養護学校において行った教育相談の事例
- ②障害のある子どもを対象とした教育相談についての原著論文、論考、資料、展望等
- ③他機関（教育センター等）における事例
- ④教育相談事業の年度毎の統計資料等
- ⑤全国特殊教育センター協議会全国大会の情報

(2) 掲載論文について

- ①前項 (1) の①②の掲載論文は、原則として本研究所及び筑波大学附属久里浜養護学校職員に限る。
- ②前項 (1) の③の掲載論文は、共同研究者に本研究所等職員が含まれていることとする。

(3) 掲載論文の検討

掲載論文の採択等については、年報編集ワーキンググループで整理の上、投稿した職員の所属する〈系〉の責任者が行い、最終決定は、教育相談センター長が行う。

序にかえて

ここに、教育相談年報第26号を刊行する運びとなった。

本年度は組織改編に伴って、教育相談センターも新たなシステムで業務を見直しつつ、より充実した教育相談活動が実施できるよう取り組んでいる。

本年報は、教育相談センターが実施している障害児に係わる教育相談活動を報告し、当研究所はもとより、関係諸機関での教育相談活動の一層の充実に資することを願って、毎年刊行しているものである。

「特別支援教育」が大きな教育のうねりとして、地域や学校に急速に浸透している。こうした動向の中で、小・中学校や盲・聾・養護学校においても、「特別支援教育コーディネーター」が指名されだし、地域との連携に強い関心がもたれだした。それと相まって、教育相談活動もさまざまな場で活発に取り組みられようとしている。また、ナショナルセンターとしての本研究所の教育相談センターの役割を捉えなおし、研究や研修に資する活動としての教育相談、地域の教育センターや盲・聾・養護学校等の教育相談担当者を支援しうる教育相談活動を追求することが求められている。

本年報では、論考として、自分の障害を肯定的に受容していく過程での支援について考えたもの、全国盲・聾・養護学校悉皆調査の結果から特別支援教育コーディネーターと教育相談の課題について考えたもの、障害のある子どものこころの成長・発達を相談担当者との関係性を軸に考えたものの3つを掲載した。

また、年次報告として、平成16年度に教育相談センターにおいて実施した教育相談活動の報告、教育相談研究室における研究活動報告、第28回全国特殊教育センター協議会総会和歌山大会における教育相談分科会での報告を掲載した。

末筆ながら、この教育相談年報が、障害のある子どもの教育相談に携わっている方々の教育相談活動に何らかの参考となり、寄与できれば幸いである。

平成17年5月

独立行政法人国立特殊教育総合研究所

教育相談センター長

後 上 鐵 夫

目 次

序にかえて…………… 後 上 鐵 夫

論 考

自分の障害を肯定的に受け止めたA子との8年間のかかわり
…………… 比良岡 美智代
小林 倫代 …… 1

盲・聾・養護学校における特別支援教育コーディネーターと教育相談
－平成16年度全国盲・聾・養護学校悉皆調査の結果から－
(プロジェクト研究「特別支援教育コーディネーターに関する実際的研究」研究グループ)
…………… 徳 永 亜希雄 ……11

障害のある子どものこころの成長・発達
－遊戯療法事例にみられる相談担当者との関係性を軸に－
…………… 植木田 潤 ……33

活動報告

教育相談事業報告……………41

教育相談研究室……………47

第28回全国特殊教育センター協議会総会・研究協議会和歌山大会
－教育相談分科会の内容を中心に－……………49

教育相談運営スタッフ一覧……………53

